

2007 年 4 月 16 日
日 本 銀 行

第 8 2 回信託大会における総裁挨拶要旨（武藤副総裁代読）

本日は、第 8 2 回信託大会にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。また、信託銀行の皆様におかれましては、平素より、日本銀行の政策や業務の運営に多大なるご協力を頂いております。この席をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

わが国の経済は緩やかな拡大を続けており、今回の景気拡大局面は 6 年目に入っています。世界経済が均衡のとれた拡大を続ける中で、企業部門では、輸出が増加を続けているほか、先日公表した短観 3 月調査でも確認されたように、設備投資、収益とも高水準にあります。家計部門では、一人当たり賃金が伸び悩んでいますが、雇用者数の伸びが続く中、雇用者所得も緩やかながら増加しており、個人消費は底堅く推移しています。

先行きは、海外経済の動向などのリスク要因には引き続き十分な注意が必要ですが、わが国経済は、生産・所得・支出の好循環のメカニズムが働き続けるもとで、息の長い成長を続ける可能性が高い

とみています。

物価面では、既往の原油価格反落の影響などから、生鮮食品を除く消費者物価指数の前年比は、足もとゼロ%近傍で推移しています。しかし、より長い目で見通すと、設備や労働といった資源の稼働状況は高まっており、景気拡大が続くとみられることから、基調として上昇していくと考えられます。

日本銀行としては、今後とも、経済・物価情勢を丹念に点検しながら、金融政策を適切に運営し、物価安定のもとでの持続的成長の実現に引き続き貢献していく所存です。

次に、金融システム面について申し上げます。経済のグローバル化、あるいは高齢化の進展といった経済社会の変化の中で、顧客の金融に対するニーズは一段と多様化しています。

こうしたもとで、金融機関の間では、それぞれの特性を活かしつつ、多様な金融サービスの提供に努め、顧客ニーズにきめ細かく対応していく動きが広がっています。また、各種のファンドのように、金融機関以外の資金仲介経路も広がりをみせています。

このような金融を巡る環境変化のもとで、皆様方が提供される信託の仕組みは、わが国における金融機能を強化していくうえで、一

段とその重要性を増してきています。信託は、資産の運用・管理・流動化といった様々な局面で活用されており、今後とも幅広い分野で金融のイノベーションに大きく貢献していくものと期待しています。

私ども日本銀行としては、考査・モニタリングにおいて、信託も含めたリスク管理等の状況を把握・検証させて頂くとともに、各種セミナーの開催などを通じ、金融の高度化を積極的に後押しして参りたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

以 上